

## 基本計画の指標について

## 1 指標設定の目的

総合計画の着実な推進に向けて、基本施策や施策の進捗状況を客観的かつ適切に管理するため、指標を設定するもの

## 【現行の進捗管理の方法】

評価の種類	概要	対象
政策評価 (5年に一度)	総合計画基本計画の政策体系に基づき、基本施策における目指すべき市民生活の状態の達成状況を評価するもの（指標の設定はなし） ※基本計画の改定に合わせて、総括的な評価として複数年を対象に実施	25 基本施策
施策評価 (毎年実施)	基本施策に連なる各施策について、施策の進捗状況や市民満足度の推移などを踏まえて、施策の課題抽出や今後の方向性を検討するもの <評価の視点>①施策指標の達成度、②事業の進捗状況、③市民満足度	84 施策
事業評価 (毎年実施)	各事業について、施策目標を達成するために何が有効であるかという視点から、今後の取組方針を検討するもの	約900 事業

## 2 現行計画（第5次宇都宮市総合計画）の指標に係る課題について

## (1) 成果指標・活動指標の混在

指標として、取組を実施した結果（産出物）、取組の結果から得られる成果（直接成果）、また、取組の結果、最終的に得られる波及的な効果（最終成果）が混在しており、指標ごとに評価結果に差異が生じる要因となっており、指標の整理が必要である。

## (2) 政策評価における定量的な評価

複数の施策からなる25本の基本施策の単位で政策評価を実施するに当たり、進捗状況を定量的に測る指標がなく、定性的な評価のみになっており、客観的でわかりやすい評価を行うためには、定量的な視点から評価する指標などが必要である。

## 3 指標設定に当たっての基本的な考え方

## (1) 指標の階層の整理

基本施策と施策ごとに進捗状況を定量的に測る指標を設定することとし、5年ごとに評価を実施する基本施策と毎年評価を実施する施策で、それぞれの指標の階層を下記及び別表（当資料3頁）のとおり整理する。

また、施策の指標については、「直接成果」のみの設定では外的要因に影響され、経年の評価に差異が生じる可能性があることから、進捗管理の精度向上に向けて、成果指標を補完するため、「産出物」を併せて指標として設定することを基本とする。

指標の分類	投入量 インプット	活動量 アクティビティ	産出物 アウトプット	直接成果 アウトカム	最終成果 アウトカム
考え方	決算・人員などの資源	行政活動	行政活動の結果、 産出されたもの	産出が生み出す直接的な成果	目指す最終成果

施策指標

基本施策指標

【現行計画からの変更点】

区分	第5次総合計画（現行計画）	第6次総合計画
基本施策	指標の設定はなし	最終成果の指標を1つ以上
施策	最低1つ（指標の階層の整理はなし）	直接成果と産出物の指標を1つずつ

※ 詳細は3頁別表のとおり

(2) 定期的な進捗管理

計画を着実に推進するため、定期的に計画の進捗状況を把握し、見直せるよう、基本施策については5年ごと、施策については毎年、数値を把握できる指標の設定を基本とする。

4 目標値設定の考え方について

既存計画との整合や、国・県の同一・類似指標との関係を考慮すると、統一的な手法による目標値の設定は困難であるため、施策ごとの性格を考慮し、下表の例のような設定方法に基づき、指標ごとに見合った目標値を設定する。

〔目標値の設定方法の例〕

<p>バックキャスト方式 (ありたい姿から逆算して設定場合)</p> <p>ありたい姿から逆算</p> <p>現状 将来</p> <p>例) 将来のありたい姿</p> <p>例. ○○○○参加者数 など</p>	<p>受益者ニーズ法 (市民等のニーズに合わせた目標)</p> <p>例) 意識調査の結果等 (市民が望む量)</p> <p>現状 将来</p> <p>例. ○○○○導入率 など</p>
<p>トレンド法 (過去の延長線。いわゆる趨勢値)</p> <p>過去 現状 将来</p> <p>例) 3年ごとに10人増</p> <p>例. ○○○○利用者数 など</p>	<p>※ 目標値の設定に当たっては、現行計画と同様の指標を用いる場合、すでに達成度が100%を超えている場合などは、目標自体又は目標値の設定に際し、実情を十分に踏まえ設定すること。</p>

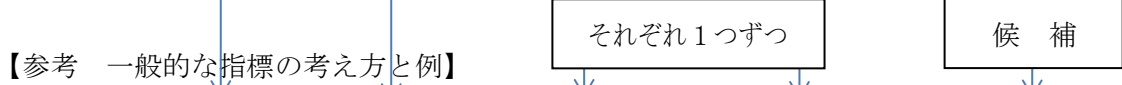
5 基本施策・施策の指標について

別紙2-1のとおり

※ 基本施策の名称及び施策体系については、別紙2-2のとおり

《各評価制度と対応する指標のレベルの想定》

	事業評価	施策評価	政策評価
評価頻度	毎年度	毎年度	複数年に一度
現行指標 (5次総)	投入量(決算額等のイン プットなど)①を中心に 記載	産出物(アウトプット)③ から最終成果(アウトカム)⑤ まで指標が混在	指標なし
見直し後 (6次総)		直接成果(アウトカム)④と 産出物(アウトプット)③の 両方の指標を設定	最終成果(アウト カム)⑤をメイン に設定



【参考 一般的な指標の考え方と例】

分類	投入量 インプット ①	活動量 アクティビティ ②	産出物 アウトプット ③	直接成果 アウトカム ④	最終成果 アウトカム ⑤
考え方	決算・人員 などの資源	行政活動	行政活動の結 果, 産出された もの	産出が生み出 す直接的な成 果	目指す最終成果
指標例	障がい者地 域生活支援 決算・人員	GH(グループ ホーム) 事業 者募集周知	GH事業者の 募集・設置数	GH入所待機 者数	安心して地域で暮ら す障がい者割合
	健康診査 決算・人員	健康診査実 施に向けて の調整	健康診査実施 回数・受診者数	生活習慣改善 に向けた保健 指導実施率	健康寿命(≡要介 護認定率), 罹患 率・死亡率
	道路の新設 整備	工事箇所の 選定・準備	工事箇所数 (整備延長)	全体計画に対 する整備率	事故発生回数, 渋 滞発生時間
時間軸 目安					
	1年	1年	1~3年	3~5年	長